

授業概要

フィンテック、fintech（英: financial technology）とは、Finance（金融）とTechnology（技術）を組み合わせた造語である。フィンテックは、従来の金融サービスをICT（情報通信技術）で置き換えるだけでなく、新たなサービスも生み出そうとしている。そこでこの講義では、フィンテックの背景となっている代表的な技術である、(1) スマートフォン、(2) 人工知能（AI）・ビッグデータ分析、(3) ブロックチェーン・分散型台帳技術（DLT）について概説した上で、これらの技術を使ったデジタル社会を理解する。具体的な例として「支払決済はじめ広範な金融サービスに応用していく取組み」などを紹介する。

授業計画

第 1 回	フィンテック、fintech の意味と概要
第 2 回	従来の金融サービスとフィンテックによる変化
第 3 回	フィンテックによる新たなサービス
第 4 回	フィンテックの代表的な技術である、(1) スマートフォンについて
第 5 回	フィンテックの代表的な技術である、(2) 人工知能（AI）
第 6 回	フィンテックの代表的な技術である、(3) ビッグデータ分析
第 7 回	フィンテックの代表的な技術である、(4) ブロックチェーン
第 8 回	フィンテックの抱える課題
第 9 回	課題解決の取組み
第 10 回	金融サービスの「グローバル化」
第 11 回	金融サービスの「パーソナル化」
第 12 回	情報セキュリティ低下やサイバー攻撃などの新しいリスクも含め、さまざまなリスクに対し関係者が適切な対応を採ること、などが求めら
第 13 回	フィンテックは、新たな経済活動の活性化や経済の発展
第 14 回	これまでの学習内容のまとめ
第 15 回	テスト範囲の復習
第 16 回	テストの実施

到達目標

フィンテックを理解し、技術的な概要とそのサービスが生み出す新たな価値や可能性を認識することにより、今後のデジタル社会を考え、その関わり方を考えることといくつかの具体的なサービス事例の内容を理解することを目標とする。

履修上の注意

金融やIT について、興味のあることを調べること。

予習・復習

各講義の前後1時間。

評価方法

授業中のレポート提出とテストで評価する。具体的には、学期末試験 70%、授業内レポート 20%、受講態度 10%

テキスト

別途 指示する。